

令和2年度指定管理者制度運用委員会における沖縄県営都市公園の  
令和元年度指定管理者モニタリングの検証結果

1 日 時 令和2年8月5日（水）～6日（木）

2 場 所 県庁11階第4会議室 他4箇所

3 出席者 委 員：5名

（委 員）沖縄女子短期大学 総合ビジネス学科 教授 渡久地 啓

（委 員）沖縄税理士会 税理士 西里 恵里紗

（委 員）一般社団法人沖縄県建築士事務所協会 監事 當山 勝史

（委 員）一般社団法人沖縄県PTA連合会 会長 伊禮 靖

（委 員）公益財団法人沖縄県老人クラブ連合会 常務理事 新城 智美

4 議 事

沖縄県営都市公園（バナナ公園）の令和元年度指定管理者モニタリング実施結果の  
検証

5 検証内容

- ① 指定管理者及び県が実施するモニタリングは適正になされているか
- ② 指定管理者に対する県の指導・助言は適切に行われているか
- ③ 利用者アンケートや苦情に対する指定管理者や県の対応は適切に行われているか

6 議事の概要

沖縄県営都市公園（バナナ公園）のモニタリングについて、大きな指摘は無かった。

7 審議事項（主な質疑応答） ○：委員 ■：都市公園課

○ 木造部分の修繕はどのように行っているか。

■ 予算の関係もあるため、優先順位をつけて修繕を行っている。危険箇所は立ち入り規制するなどし、安全に公園利用できるようにしている。

○ ホームページ上における、スタッフブログの更新が少ないのではないか、公園の魅力伝えることのできる良いツールだと思うのでもっと更新していけば良いと思う。

■ 指定管理者へ情報提供し、助言を行っていくこととする。

## 労働条件等自主点検表

施設名称	バナナ公園	対象年度	令和元年度
指定管理者名	沖縄県緑化種苗協同組合		

確認事項	指定管理者による確認結果						
<p>1 労働条件の明示</p> <p>労働契約を締結するに当たり、労働時間、賃金、退職（解雇の事由を含む。）、安全衛生等の労働条件を労働者に対し明示していますか。この場合において、労働時間、賃金等に関する事項について書面を交付していますか。</p> <p>労働契約の締結時には、パートタイム労働者を含むすべての労働者に対し労働時間、賃金、退職（解雇の事由を含む。）、安全衛生等の労働条件を明示しなければなりません。特に、労働契約期間、有期労働契約を更新する場合の基準、始業・終業の時刻、所定時間外労働の有無等、約定賃金の決定、計算、支払の方法及び賃金の締切り、支払の時期等、退職（解雇の事由を含む。）については、書面を交付しなければなりません〔労働基準法（以下「法」といいます。）第15条〕</p>	就業規則、労働条件通知書を交付して労働条件全般について明示している	労働条件全般について口頭で明示するとともに、労働時間、賃金等に関する事項については書面を交付している	労働条件全般について口頭で明示しているが、書面の交付はしていない	労働時間、賃金等の労働条件の一部についてのみ口頭で明示している	労働契約締結時には明示していない		
	1	②	3	4	5		
	(3～5については、改善が必要です)						
<p>2 就業規則</p> <p>就業規則（労働時間、休日、休憩、休暇、賃金の定め方及び支払方法、退職（解雇の事由を含む。）等、労働条件の具体的細目を定めた規則）を作成していますか。また就業規則の内容が実際の勤務の状況に合っていますか。</p> <p>常時10人以上の労働者（パートタイム労働者を含む。）を使用する事業場では、就業規則を作成し、所轄労働基準監督署長へ届け出なければなりません（法第89条）</p> <p>また、常時各作業場の見やすい場所への掲示、備付け、書面の交付又は電子機器の設置等により労働者に周知させなければなりません（法第106条）</p>	常時使用する労働者は10人未満である。	常時使用する労働者が10人以上である					
		作成して監督署に届け出てあり、内容も実情に合っている	作成して監督署に届け出てあるが、内容が実情に合っていない	作成してあるが、監督署に届け出ていない	作成していない		
	1	②	3	4	5		
	(3～5については、改善が必要です)						
<p>3 所定休日</p> <p>所定休日をどのように定めていますか。</p> <p>休日は少なくとも毎週1日又は4週間を通じ4日を与えなければなりません（法第35条）</p>	週休2日制		週休1日制		その他		
	完全（毎週）	月3回	隔週	月1～2回	週1日	4週4日	4週3日以下
	①	2	3	4	5	6	7
	(7については、改善が必要です)						

4 年次有給休暇  
年次有給休暇についてはどのように取り扱っていますか。

年次有給休暇は、6ヶ月間継続勤務し、全労働日の8割以上を出勤した労働者については10労働日、以降1年ごとに付与日数を増加しなければなりません(法第39条)

法定どおりの年次有給休暇を与えている	年次有給休暇を与えているが、付与日数が法定を下回っている	年次有給休暇を与えていない
①	2	3

(2、3については改善が必要です)

※年次有給休暇の法定の付与日数表(週所定労働日数が5日以上、又は、週所定労働時間が30時間以上の労働者の場合。)

勤続年数	0.5	1.5	2.5	3.5	4.5	5.5	6.5以上
付与日数	10	11	12	14	16	18	20

※なお、月30時間未満の労働者は比例付与することとされています。

5 健康診断  
定期健康診断を実施していますか。

常時使用する労働者については、年1回定期的に健康診断を行わなければなりません(労働安全衛生法第66条)。  
なお、深夜業を含む業務等に常時従事する労働者に対しては6月以内ごとに1回定期的に健康診断を行わなければなりません(労働安全衛生規則第45条)

毎年1回以上定期的に行っている	年によって行ったり行わなかったり一定しない	行ったことがない
①	2	3

(2、3については、改善が必要です)

6 最低賃金  
地域別最低賃金以上の賃金を支払っていますか。

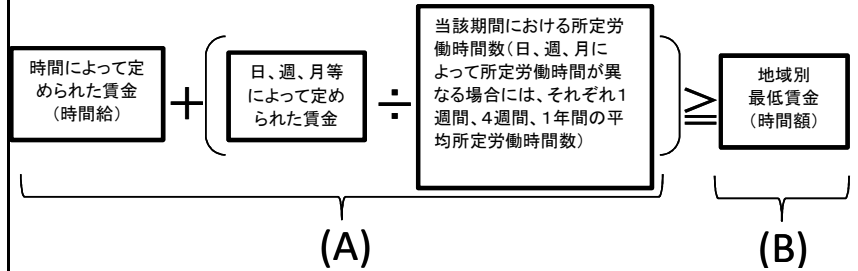
なお、地域別最低賃金には次の賃金は含まれません。

- ① 臨時に支払われる賃金(結婚手当等)
- ② 1月を超える期間ごとに支払われる賃金(賞与等)
- ③ 所定外・休日・深夜の労働に対して支払われる割増賃金
- ④ 精皆勤手当、通勤手当、家族手当

支払っている	支払っていない
①	2

(2については、改善が必要です。)

【支払う賃金(A)と地域別最低賃金(B)の比較方法】



7 割増賃金  
時間外労働・休日労働又は深夜労働を行わせた場合に、その時間に対する割増賃金は、どのように支払っていますか。

法定労働時間を超える時間外労働については、2割5分以上、法定休日における休日労働については3割5分以上、深夜労働(午後10時から翌日午前5時の間の労働をいいます。)については2割5分以上の割増賃金を支払わなければなりません(法第37条)。

※割増賃金の基礎となる賃金には、家族手当、通勤手当、別居手当、子女教育手当、住宅手当、臨時に支払われた賃金、一箇月を超える期間ごとに支払われる賃金は算入しません。

時間外労働・深夜労働について

2割5分以上の割増率にしている	2割5分未満の割増率にしている	時間外労働又は深夜労働をさせているが、支払っていない
①	2	3

(2、3については改善が必要です。)

休日労働について

3割5分以上の割増率にしている	3割5分未満の割増率にしている	休日労働をさせているが、支払っていない
①	2	3

(2、3については改善が必要です。)

8 雇用保険の加入について

確認事項	従業員数	うち雇用保険加入従業員数	うち雇用保険未加入従業員数
当該指定管理施設で勤務する従業員の雇用保険加入状況	12	12	0

確認事項	指定管理者による具体的な取組内容
従業員の雇用保険加入に関する取組	雇用保険加入の条件を満たしている全ての職員に対して、雇用契約書に明記して雇用開始時に加入の手続きをとっている。

確認事項	未加入とする理由
従業員に雇用保険未加入者がいる場合の未加入理由	

※調査対象となる従業員は、雇用形態(正社員、派遣社員、契約社員、パートタイマー等)に関わらず、当該指定管理施設において指定管理者と雇用契約を結ぶ指定管理業務にもっぱら従事する従業員(平成〇年3月末における業務全体のうち、当該業務の割合が概ね50%以上の従業員)となります。

9 健康保険・厚生年金保険の加入について

確認事項	従業員数	うち健康保険加入従業員数	うち健康保険未加入従業員数	うち厚生年金保険加入従業員数	うち厚生年金保険未加入従業員数
当該指定管理施設で勤務する従業員の健康保険・厚生年金保険加入状況	12	5	7	5	7

確認事項	指定管理者による具体的な取組内容
従業員の健康保険・厚生年金保険加入に関する取組	健康保険・厚生年金加入の条件を満たしている全ての職員に対して、雇用契約書に明記して雇用開始時に加入の手続きをとっている。

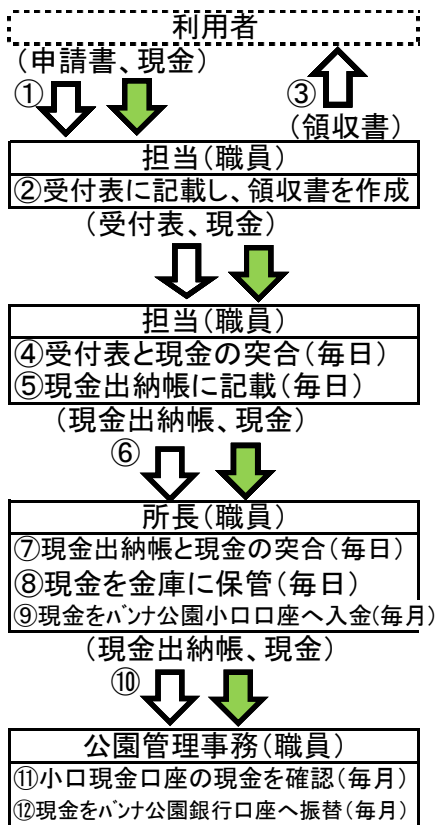
確認事項	未加入とする理由
従業員に健康保険・厚生年金保険未加入者がいる場合の未加入理由	就労時間が週24時間に満たない為

※調査対象となる従業員は、雇用形態(正社員、派遣社員、契約社員、パートタイマー等)に関わらず、当該指定管理施設において指定管理者と雇用契約を結ぶ指定管理業務にもっぱら従事する従業員(平成〇年3月末における業務全体のうち、当該業務の割合が概ね50%以上の従業員)となります。

**料金徴収フロー図(例示)**

利用料金の名称	施設利用料金	施設の名称	多目的おまつり広場
---------	--------	-------	-----------

フロー図	利用料金の種類と金額
<div style="display: flex; flex-direction: column; gap: 5px;"> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; width: 20px; height: 10px; margin-right: 5px;"></div> <span>…… 職員等</span> </div> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="border: 1px dashed black; width: 20px; height: 10px; margin-right: 5px;"></div> <span>…… 職員等以外</span> </div> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; width: 20px; height: 10px; margin-right: 5px;"></div> <span>…… 書類等の流れ</span> </div> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="border-left: 2px solid green; border-right: 2px solid green; width: 20px; height: 10px; margin-right: 5px;"></div> <span>…… 現金の流れ</span> </div> </div>	<p>(備考) ※利用料金表は、別紙添付。</p>



- ① 担当職員が利用者から申請書と現金を受取る。
- ② 担当職員は受付表に記載し、領収書を作成。
- ③ 担当職員は利用者へ領収書を渡す。
- ④ 担当職員は現金の金額と受付表の内容を突合する。(毎日)
- ⑤ 担当職員は④で確認した現金額を現金出納帳に記載。(毎日)
- ⑥ 担当職員は現金出納帳と現金を所長に引き継ぐ。(毎日)
- ⑦ 所長は現金出納帳と現金の金額を突合する。(毎日)
- ⑧ 所長は現金を金庫に保管する。(毎日)
- ⑨ 所長は現金をバナナ公園小口銀行口座へ入金する。(毎月)
- ⑩ 所長は公園管理事務職員へ現金出納帳と現金を引き継ぐ(毎月)
- ⑪ 公園管理事務職員は小口現金口座の現金額を確認する。(毎月)
- ⑫ 公園管理事務職員は、小口現金銀行口座の現金をバナナ公園銀行口座へ振替する。(毎月)

別紙

(1) 行為の許可

種 別	単 位	利用料金
物品の販売その他これに類する行為を行う場合	1日につき	260円
業として写真を撮影する場合	1日につき	430円
業として映画を撮影する場合	1日につき	9月まで9,740円 10月より9,920円
興行を行う場合	1日100平方メートルにつき	250円
競技会、展示会、博覧会、集会その他これらに類する催しを行う場合	1日100平方メートルにつき	250円

備 考 利用面積が100平方メートルに満たない場合には、その満たない利用面積については、100平方メートルとして計算する。

(2) 多目的お祭り広場

区分			利用料金				備考
			9時～13時	13時～17時	9時～17時	時間外(1時間につき)	
グラウンド	入場料を徴収しない場合	一般・学生	1,880円	1,880円	3,600円	510円	利用面積が2分の1以下の場合の利用料金は、当該利用料金の2分の1の額とする
		高 齢 者	890円	890円	1,780円	250円	
		児童・生徒	890円	890円	1,780円	250円	
	入場料を徴収する場合	入場料を徴収しない場合の一般・学生、高齢者又は児童・生徒の区分及び時間の区分に応じた利用料金に、徴収する最も高い入場料の額に100を乗じて得た額を加算した額					
照明設備	全点灯	1時間につき		450円			
	2分の1点灯	1時間につき		220円			
	4分の1点灯	1時間につき		110円			

(注)

- 「時間外」とは、9時前又は17時後に有料公園施設等を利用する場合をいう。
- 「幼児」とは、満3歳から小学校就学の始期に達するまでの者をいう。
- 「児童・生徒」とは、小学校の児童並びに中学校及び高等学校の生徒その他これらに準ずる者をいう。
- 「高齢者」とは、65歳以上の者をいう。
- 「一般・学生」とは、幼児、児童・生徒及び高齢者以外の者（3歳未満の者を除く。）をいう。
- 「入場料」とは、入場料、整理料その他名義のいかんを問わず、入場者から徴収する入場の対価をいう。

備考 次の者からは利用料金を徴収しない。

- 3歳未満の者
- 幼児

## 指定管理者制度導入施設 モニタリングシート

施設名称	バナナ公園	対象年度	令和元年度
------	-------	------	-------

## 【 目 次 】

I.	履行確認		
1.	維持管理業務	.....	P1
	(1) 清掃		
	(2) 保守・点検		
	(3) 保安・警備		
	(4) 小規模修繕		
	(5) 備品購入		
	(6) 防犯・防災対策		
	(7) 料金徴収業務		
2.	運營業務	.....	P4
	(1) 利用実績		
	1) 利用者数等（又は入居率等）		
	2) 施設稼働率		
	3) 教室・イベント等参加者数		
	(2) 運営企画		
	(3) 受付・接客		
	(4) 広報		
	(5) 情報管理		
3.	自主事業	.....	P6
II.	サービスの質の評価	.....	P9
	1. 維持管理業務		
	2. 運營業務		
	3. 自主事業		
	4. 総合評価		
III.	サービスの安定性評価(財務状況)	.....	P11
	1. 事業収支		
	(1) 収入		
	(2) 支出		
	2. 経営分析指標		
IV.	総合評価	.....	P13
	1. 目標		
	2. 評価結果		

## 指定管理者制度導入施設 モニタリングシート

施設名称	バナナ公園	対象年度	令和元年度
指定管理者	沖縄県緑化種苗協同組合 指定期間:平成27年4月～令和2年3月	所管課	土木建築部 都市公園課

## I. 履行確認

## 1. 維持管理業務

## (1) 清掃

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
<日常清掃> 快適・清潔な公園を維持する為、トイレや駐車場、主要園路及び各施設の清掃を実施し美観を維持する。	○		日常的な清掃を基本とし、イベントや大型客船が入港し利用頻度の多いときは適宜清掃を実施。清掃回数を増やす等、常に清潔で快適な空間を提供できるよう努めた。トイレや施設内・屋外の清掃業務管理日報を作成し、ゴミ収集や清掃業務内容を日常と定期(週・月)に分けて実施した。	報告書、現場写真及び現場視察時に随時実施確認。仕様書に従い適切に実施している。	事業計画どおり適切に実施している。	清掃業務の知識と経験を活かした清掃方法や適切な道具や洗剤の選定を行い、丁寧な清掃を行っていた。今後も、定期的実施する高圧洗浄機による園路清掃など効率的な方法などを取り入れていく必要がある。
<定期清掃> 園内各施設、屋外も含め、清潔で快適な環境が保てるよう、定期的に清掃を実施する。	○		各施設内の床面、窓・ドアガラス洗浄等を週1回実施。また、展望台、東屋、園路、排水溝等の高圧洗浄を定期的実施。台風通過後は速やかに洗浄を実施。また、法定検査に基づき、浄化槽汲み取り(20箇所)・貯水槽(5箇所)の清掃を年1回実施し清潔で安心な環境維持に努めた。	報告書、現場写真及び現場視察時に随時実施確認。仕様書に従い適切に実施している。	事業計画どおり適切に実施している。	

## (2) 保守・点検

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
園内巡回点検や、遊具の日常・定期点検及び建物や付属設備等の保守点検を実施し機能保全を図る。	○	○	開園前、日常巡回点検と月2回の遊具・施設の定期点検、年1回の遊具定期点検を実施。専門知識や技術が必要とされる浄化槽、貯水槽、消防・電気保安業務等は専門業者による保守点検を実施。	報告書、現場写真及び現場視察時に随時実施確認。仕様書に従い適切に実施している。	事業計画どおり適切に実施している。	徹底した点検業務を行い、さらにチェックリストをもとに不具合箇所の早期発見や機能改善に努めていた。設備の老朽状況や経年劣化状態を考慮した点検や計画的な修繕作業を行う必要がある。



## (3) 保安・警備

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
日常的な公園の安全として、事件や事故を未然に防止するため、常駐警備を一箇所以上設置し園内警備を実施する。	○	○	昼夜の巡回警備を1日7回以上実施。また利用者への声かけ等で情報収集を行い、不審者・不審物不具合等の早期発見に努めた。また、夜間の外灯点検、施設・ゲートの施錠確認等で安全と秩序を維持することが出来た。	報告書、現場写真及び現場視察時に随時実施確認。仕様書に従い適切に実施している。	事業計画どおり適切に実施している。	日中警備と、夜間警備の連絡体制を密にし、安全危機管理の強化を図り、事件・事故等の未然防止に努めていた。更なる保安維持、未然防止等の安全管理に努める必要がある。

## (4) 小規模修繕

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
建物及び付属設備の日常、定期点検を踏まえ、危険と判断した場合は、適切な処置を講じ、危険度・必要等で優先順位を決め実施する。	○		公園管理者の点検だけでなく、公園利用者の情報にも耳を傾け、不具合等の早期発見、対応に努め、施設の特長や劣化・損耗状況を把握し、迅速な修繕を心掛け利用者が安全で快適に利用出来るよう努めた。	報告書、現場写真及び現場視察時に随時実施確認。仕様書に従い適切に実施している。	事業計画どおり適切に実施している。	危険性・必要性を考慮し、優先順位を決め迅速な修繕を行い、施設の長寿命化を図るとともに、経費の削減に努めていた。木製施設の劣化・損耗が著しい箇所は、繰り返し修繕を行っているが、安全性の保持やコスト増加への対応が課題となるため、専門業者による大規模な改修工事が必要である。

## (5) 備品購入

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
各年度で県貸与備品照会として希望購入備品リストを作成し提出	○		備品管理台帳を作成し、使用状況、頻度等を整理し、業務に支障がないよう修繕、買換え、購入等を予算の範囲内で実施。	報告書、現場写真及び現場視察時に随時実施確認。仕様書に従い適切に実施している。	事業計画どおり適切に実施している。	備品管理記録表を基に、修繕の状況、物品の状態を把握し、適正な管理に努めた。しかし、使用頻度が多い刈払機の修繕が重なった場合、台数不足等で作業効率が低下する可能性がある。予備の機器の確保も必要である。

## (6) 防犯・防災対策

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
危険を予知するという視点で巡回を行い、作業スタッフも作業箇所周辺の異変や異常、施設の不具合等がないかなど多くの目で確認を行い、事故や犯罪、災害の未然防止に努める。	○		利用者が日常的に安心 安全に利用できる環境の確保に努め、自然災害や火災等、緊急時の対応として防火・防災計画書を作成し、消防訓練を実施。救命処置が速やかに行えるようAEDを常備。また、危険生物に対する応急処置の講習会を開催し、現場スタッフの意識を高めた。	報告書、現場写真及び現場視察時に随時実施確認。仕様書に従い適切に実施している。	事業計画どおり適切に実施している。	災害や緊急時等に対応する勉強会を行い、関係機関との連携を図りながら防犯・防災対策に努めていた。今後も、利用者が安心して利用できる環境づくりを徹底していくこと。

## (7) 料金徴収業務

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
利用料金の徴収を行う立場を正しく認識し、安全、確実、適正な処理を行う体制を確立し、利用料金の徴収業務を行います。	○		原則窓口での現金徴収とし、占用、減免審査については条例の規定に基づき公平・公正に対応し、収受の記録や報告等を適正に実施。	報告書、現場写真及び現場視察時に随時実施確認。仕様書に従い適切に実施している。	事業計画どおり適切に実施している。	利用料の徴収においては、常に公益性を持っていることを念頭に適正な徴収業務に努めていた。

## (8) 植栽管理

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
植栽樹木等については、専門家が定期巡回を行い、剪定、刈込み、施肥等の時期を決定し健全な植物維持管理に努める。	○		年間維持管理計画に基づき、樹木等の生育に配慮した剪定、施肥等を実施。また、デイゴの再生保全対策で専門業者と連携をとり、ヒメコバチ防除対策（樹幹注入）を実施。結果、園内デイゴ開花状況が良好で利用者の喜びの声が多く寄せられた。	報告書、現場写真及び現場視察時に随時実施確認。仕様書に従い適切に実施している。	事業計画どおり適切に実施している。	植栽や樹木の生育状況の観察、開花時期と状態に配慮した剪定・施肥を実施し、健全な植栽維持管理に努めていた。今後も、デイゴの再生保全等を専門業者と連携し効果的な取り組みを行うこと。

1. 維持管理業務 取組改善案	木製施設の劣化や損耗による不具合の修繕は管理者で対応できる範囲で修繕していた。大規模な改修工事が必要な箇所もあるため、危険度、必要性を踏まえて優先順位をつけた対応が必要である。
--------------------	--

## 2. 運営業務

## (1) 利用実績

## 1) 利用者数等

		平成30年実績	事業計画 (目標値)	令和元年実績	整合性の検証		現状分析 ・課題
					前年比	計画比	
利用者数	個人利用者数	430,756 人	431,000 人	442,276 人	103%	103%	大型クルーズ船の入港、LCCの就航等で観光客が増加している。
	団体利用者数	147,340 人	148,000 人	141,405 人	96%	96%	年度後半(2.3月)は、コロナ渦の影響で外国人観光客が大幅減。また、イベントや学校行事(遠足等)の中止が相次いだ。
	計	578,096 人	579,000 人	583,681 人	101%	101%	

評価(①利用状況)

A

## 【評価基準(①利用状況)】

目標値に対する達成率

S : 110%以上

A : 100%以上、110%未満

B : 80%以上、100%未満

C : 80%未満

## 2) 教室・イベント等参加者実績

	内容	平成30年実績	事業計画 (目標値)	令和元年実績	整合性の検証		現状分析 ・課題
					前年比	計画比	
教室	通年事業(昆虫館・活性化プログラム)	13,980 人	14,000 人	14,725 人	105%	105%	多様なイベントや教室が市民に周知され、利用増となっていたが、年度後半のコロナの影響で屋内外のイベント等の中止により大幅な減となった。
	観察会、講習会、学習会、展示会、矯正展	1,556 人	1,600 人	624 人	40%	39%	
イベント	通年事業(セグウェイツアー)	1,879 人	1,900 人	1,791 人	95%	94%	
	ホタル、キッズ、健康WK、慰霊祭、童謡コン、ロードレース、緑化祭・ハロウィン、ドッグ、学校行事	11,880 人	11,900 人	10,958 人	92%	92%	
計		29,295 人	29,400 人	28,098 人	96%	96%	

## (2) 運営企画

事業計画	実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	(事業報告書)	(現地確認)		
〈開園日数〉	361	報告書、現場写真及び現場視察時に随時実施確認。仕様書に従い適切に実施している。	事業計画どおり適切に実施している。	台風9号(8/9)13号(9/5)18号(9/30・10/1)の影響により閉園(計4日間)
〈開館時間〉 (駐車場利用可能時間)	7時～21時			

## (3) 受付・接客

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
公園管理事務所で行うものとし、日中は職員等を1名以上配置し、苦情・相談については、管理事務所において公園管理者が随時対応する。	○		予約受付や利用申請、許可、付与までの手続きを条例に照らし、管理事務所にて適正に実施した。また、苦情や意見・要望等については利用者の視点に立った丁寧な対応を心がけ迅速に対処した。	報告書、現場写真及び現場視察時に随時実施確認。仕様書に従い適切に実施している。	事業計画どおり適切に実施している。	利用者の意見やニーズを積極的に取り入れ、利便性の向上と利用促進を図る事ができていた。また、外国人観光客への対応も語学アプリを活用したり、簡単な英会話でコミュニケーションをとりながら案内をしていた。より一層コミュニケーションの向上と適切な情報提供を行っていく必要がある。

## (4) 広報

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
HPにおいて、イベントや公園の旬な情報の提供、インターネットの情報サイトや旅行雑誌等を利活用した情報発信。	○		地域新聞、地元情報誌、イベント情報掲載、旅行情報誌等のマスメディアに対するこまめな修正、発信を心掛け、知名度アップに繋げた。また、公園内掲示板等を利用し積極的にイベント等のPRを行った。	公園HPにて随時実施確認。適切に実施している。	事業計画どおり適切に実施している。	地元新聞等や広報媒体、前回課題であった地元情報誌とも連携し、さらなる効果的な情報発信を行うことで、より一層知名度アップに努める事ができていた。SNSなどの活用により、多くの情報を発信していく必要がある。

## (5) 情報管理

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
基本協定書第21条に基づき、関係法令を遵守し、適切に実施している。	○		沖縄県個人情報保護条例及びその他法令を遵守するとともに、個人情報保護方針を作成し、個人情報の保護に努めた。	報告書、現場写真及び現場視察時に随時実施確認。仕様書に従い適切に実施している。	事業計画どおり適切に実施している。	個人情報の取り扱いや保護等について、適正に管理を行っていた。引き続き定期的な情報管理のチェックが必要である。

## 3. 自主事業

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
バナナ公園 ホテル観察会	○		通算7回目となるホテル観察イベント。募集開始当日で定員20名を上回り34名の参加となった。薄暗い山林道の中にヤエヤマヒメホテルが輝き始めると参加者からは、参加者から静かな歓声が上がった。道中は観察会参加者以外にも大勢の利用者があり、すれ違いや、足場の狭い場所では一旦停止を促すなどをし、より安全にホテル鑑賞を楽しんでもらうことができた。	報告書、現場写真にて随時実施確認。適切に実施している。	事業計画どおり適切に実施している。	前回「ホテルの数が少なく感じる」という課題があったが、観察場所を変更することにより解決することができた。また、観察会出発前の事前学習ではクイズ形式でホテルの知識を学習するなどの工夫も凝らし好評を得ていた。一方観察会場には多くの利用者が訪れるため、参加者と区別するのが難しくなる場面もある。したがって、一般利用者と観察会参加者の区別をつけるための方法が課題となる。また参加者から観察時の園路に生息する動植物の資料を要望する声があったため、ホテル以外の観察会でも導入すること。
バナナ公園GW キッズ・イベント20 18	○		毎年恒例のGW(こどもの日)にちなんだキッズイベント。来場者数約850名。無料参加型の宝探しゲームや大好評のスライダープールをはじめ「射的ゲーム」等の屋外ゲーム、飲食の出店にも、大勢の家族連れが列をなした。参加した子供達からは「楽しかった!」「また遊びに来ます」等の声が多く、次年度も期待されているイベントであるため、その開催に向け尽力したい。	報告書、現場写真にて随時実施確認。適切に実施している。	事業計画どおり適切に実施している。	ゴールデンウィーク期間中、子供を持つファミリー向けのイベントとして開催。課題であったスライダープールの水替えはインターバルを設けることにより、スムーズな水替えを行っていた。また、今回より無料の幼児用プールを設置している。小さな子を持つ父兄から大好評であった。イベントを通して、子供達は時間を守って遊ぶ事や順番よく並んで待つ事の他、スタッフがイベント中に「正しい遊具利用の呼びかけ」も公園利用時のマナーに繋げることができ、遊びながら多くを学ぶようなイベントにしていた。
【新規】 ナイトウォーク& ウォッチング	○	○	普段はあまり訪れる機会の少ない夜の公園内約3キロのコースをゆっくりと歩くことにより「見る・聴く・触る」を体感してもらい、健康増進を図りながら夜間の生き物観察をしようという新しいコンセプトでのイベントを石垣青少年の家と共同開催で実施した。参加人数36名。	報告書、現場写真にて随時実施確認。適切に実施している。	事業計画どおり適切に実施している。	イベント終了後のアンケートでは「次回は別のゾーンも散策したい」「夜間の散策は初めてです、また企画して下さい」などの声もあり、参加者の満足度の高いイベントであったが、ウォーキングメインと捉える参加者と、観察会メインと捉える参加者に分かれてしまい、前者と後者の間に距離感が生じた。次回開催時は開催趣旨を明確にする必要がある。
童謡の日コンサート	○	○	7月1日の「童謡の日」にちなみ、毎年恒例となっている「童謡の日コンサート」を開催。馴染みのある童謡や唱歌を合唱したり、演奏にあわせた絵本の朗読や手遊び歌なども交えながら会場が一体となり、終始楽しいハーモニーに包まれた。市民コーラスグループの「まみーず」と共同開催。約100名の市民が来場した。	報告書、現場写真にて随時実施確認。適切に実施している。	事業計画どおり適切に実施している。	歌詞に方言を交えて歌ったり、新しい歌を取り入れるなどの趣向を凝らした内容であり、老若男女問わず会場全体が童心に戻ることのできるイベントであった。このような市民参加型のイベントを開催することにより、一般利用者へ施設利用の誘致にも繋げる必要がある。

【新規】 夏の夜の昆虫観察会	○ ○	奈良県橿原市・石垣市より、親子連れ80名が参加。薄暗くなった会場に設置されたライトに大型のカミキリムシやクワガタムシが飛んでくると、子供たちの歓声が上がった。観察会終了後のアンケートより「良かった」という内容が多く寄せられた。今後の自主事業の参考としたい。	報告書、現場写真にて随時実施確認。適切に実施している。	事業計画どおり適切に実施している。	夜のバナナ公園にてライトトラップを設置し、昼間見ることのできない夜行性の昆虫たちが集まる様子を観察する体験学習。夜間ということもあり多少の不安もあるが、入念な下見と安全確保を行うことで、夜間の観察会を安全に行っていた。また、「水辺の昆虫観察会」「早朝の昆虫観察会」なども開催して欲しいとの声もあり観察会の機会を増やせるように調整すること。
夏休み子供昆虫教室 昆虫採集と標本作り	○	今回も定員を大きく上回る27名の児童が参加した。前回は3班に分かれて行動したが、今回は4～5名の小グループに分かれ、お互い協力しながら捕獲することにし、最終的にはグループ一丸となって全員分の蝶を捕獲した。採集会終了後標本作りに励んだ。完成した標本は、夏休みの自由研究の題材として大いに役立てて欲しい。	報告書、現場写真にて随時実施確認。適切に実施している。	事業計画どおり適切に実施している。	夏休み自由研究テーマの一貫として開催。前回、捕獲数に差があったため、今回は全員が同じ捕獲数で標本が作れるよう協力し合って採集することにより参加者全員が平等に標本づくりをすることができていた。イベントを通して自然とふれあい、学びながら生き物や自然環境について興味をもってもらえる事ができた。毎回、多くの児童・生徒が参加したが、毎回定員を上回る応募があるため、数回に分けて開催できないか日程などの調整が必要である。
都市緑化月間 愛護活動・愛護デー	○ ○	10月の沖繩都市緑化月間 都市公園等愛護活動の一環として、バナナ公園北口広場・バナナ公園Cゾーン蝶園の除草・清掃美化作業および、プランターへ花苗の植え付けを実施した。作業終了後、参加者へ花苗・土・鉢と飲料の無料配布で労をねぎらった。また、前回好評だった造園建設業協会による「ブーゲンビリアの育て方と咲かせ方講習」を実施。約60名が参加。	報告書、現場写真にて随時実施確認。適切に実施している。	事業計画どおり適切に実施している。	不安定な天候に加え市内での催しも多く、一般市民の参加がやや少ない。予め他の催し開催日の事前調査を行い、日程調整する事が今後の課題である。
バナナ公園 ハッピーハロウィン2019	○	今回で8回目の開催、約600名が来場した。毎回大好評の屋内ワークショップの他、屋外ゲームやアトラクションを設置。また無料で楽しめる「フェイスペイントブース」、前回同様SNSへの写真投稿も見込み「ハロウィンオブジェ」にも力を注いだ。悪天候の影響により前回は比べ来場者は減少したが、雨天でも多くの人に足を運んで頂けた。このイベントを楽しみにしている利用者が多いことを実感できた。	報告書、現場写真にて随時実施確認。適切に実施している。	事業計画どおり適切に実施している。	公園内の素材を使ったワークショップや屋外アトラクションを通じて公園の身近な自然や緑に触れあってもらい公園の活性化と利用促進を図るのが目的。数日前からの天候不良に加え台風20号による強風の影響を受けたため、広場での会場設営が開始直前まで時間を費やした。時折強い雨が降り参加者の来場が心配されたが、多くの来場者が訪れた。予定されていたファッションショーは雨のため残念ながら中止となってしまったため天候不良時における屋外利用対策が課題である。

市民検証推進協議会 第6回健康づくり ウォーキング	○	○	石垣市民憲章推進協議会主催、バンナ公園は共催として参加。園路ウォーキング中、参加者は木々や花々など景色を楽しみながら汗を流し、約8kmの長距離コースであったが、リタイアする参加者も無く、70名の参加者全員が完歩した。	報告書、現場写真にて随時実施確認。適切に実施している。	事業計画どおり適切に実施している。	日差しが柔らかく湿度も低めの11月に開催時期を設定。ウォーキング道中、コースから外れたり体調不良時などの緊急時に備え、参加者の中に十数名のスタッフを配置。また、道中4箇所の「ギブアップポイント・給水所」も設け、適度に休息をとりながら無理なく快適なウォーキングをする事ができていた。約8kmの長距離コースであったが、参加者全員完歩した。公園内の自然散策も楽しめるイベントなので、公園内の動植物を案内できるガイドを組み込むなどして公園のアピールに繋げる必要がある。
ドッグイベント2019 @バンナ公園	○		通算9回目となるドッグイベント。会場に設置したドッグランでは、小型犬・中、大型犬に分け犬同士のトラブルが起らないよう配慮し、濡れた場内でも気にせず休憩できるよう椅子を配置。また初の試みで「マテ距離選手犬」を開催。競技中の場内は歓声と笑い声に包まれた。荒天により翌日順延となってしまったため、参加人数に不安はあったが、100名以上の来場があり、終始賑やかなイベント会場だった。	報告書、現場写真にて随時実施確認。適切に実施している。	事業計画どおり適切に実施している。	当初の予定では開催日が12月7日(土)であったが、悪天候であったため翌8日(日)に延期。そのため出入り口や導線には人工芝やマットを敷き、スムーズに入退場できるようにした。また前回共催で参加していた石垣島しっぽの会との日程調整がつかず公園単独主催のイベントとなった。次回以降、共催側とは早期の日程調整期間を設けることでスムーズな運営を行う必要がある。
バンナ公園ひなまつり	○		令和2年3月1日開催予定のひなまつりイベントであったが、新型コロナウイルス感染症流行を懸念して、参加者および関係者の健康・安全面を第一に考慮した結果、予定していたイベントは自粛し、展示物のみ屋外へ設置した。イベントを楽しみにしている利用者も多いため、次年度は例年通り開催したい。	報告書、随時確認。	適切に対応している。	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。
市民検証推進協議会 第7回健康づくり ウォーキング	○	○	令和2年3月15日開催予定であったが新型コロナウイルス感染症流行を懸念して、関係団体と協議の結果中止となった。	報告書、随時確認。	適切に対応している。	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。
夜の森のカエル観察会	○	○	令和2年3月27日開催予定であったが新型コロナウイルス感染症流行を懸念して、関係団体と協議の結果中止となった。本来なら2回目の観察会であった。観察会を望む市民の声は多いため次回開催に期待したい。	報告書、随時確認。	適切に対応している。	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。
2. 運営業務 3. 自主事業 取組改善案	<p>2. 運営業務 活性化プログラム、各種イベントを通して公園の利用促進を行ってきたが、より多くの人が公園を利用できるように広報活動の量を増やし市民へ情報を提供すること。</p> <p>3. 自主事業取り組み改善案 外部団体の協力により夜間の公園の自然を活用した自主事業を展開できていた。一方新型コロナウイルスの影響により中止となったイベントも複数あったため今後の自主事業には力を入れ取り組む必要がある。引き続き公園の活性化及びPRに繋がる自主事業の展開が必要である。</p>					

II. サービスの質の評価

評価項目	第三者(利用者等)評価			指定管理者 自己評価	現状分析・課題
	平成30年評価	令和元年目標	令和元年評価		
維持管理業務 施設・設備管理	(満足度)98.9%(※1) ・満足74.6% ・やや満足24.3% ・やや不満1.1% ・不満0%	(満足度)100%(※1)	(満足度)99.2%(※1) ・満足77.0% ・やや満足22.2% ・やや不満0.8% ・不満0%  (改善要望) ・ウォーキング中、滑りやすい場所がある。 ・歩道橋がところどころ痛んでるので直してほしい。	S  職員による日常の巡回・点検を強化し、不具合箇所での早期発見と早期補修・整備等に努め、適切な施設の維持管理や公園内安全管理の徹底を実施できた。 また八重山土木事務所による整備工事で、セイシカの橋や東口ボードウォーク等が改善されたため利用者が安全かつ快適に歩行出来るようになった。また、公園の魅力向上を図るため日々の整備業務にも力を注いでいる。	施設や設備の経年劣化や老朽化に伴い、施設の長寿命化の観点からも公園年間維持管理計画に基づき調整・協議を行い機能保全に努めた。木製施設の経年劣化や腐食が進行している箇所も多く、小規模な修繕や補修では対処できない箇所の改善が必要である。
運営業務 接客対応	(満足度)100%(※1) ・満足83.2% ・やや満足16.8% ・やや不満0% ・不満0%	(満足度)100%(※1)	(満足度)99.6%(※1) ・満足79.6% ・やや満足20.0% ・やや不満0.4% ・不満0%  (改善要望) ・年間を通して動植物の情報発信があると良いです。	S  様々な目的で訪れる来園者に対し、常に明るく丁寧な接客対応を心掛け、来園者の視点に立った的確な接客が出来た。また積極的に挨拶や声掛けなどのコミュニケーションを図り、利用案内や情報提供を行い利用促進につなげ、利用者からの苦情・要望に対しても迅速に対応し改善に繋がった。頻繁に公園を利用する方々より挨拶や作業中の劳いの言葉を頂く事も多くなった。	利用者との交流を図りながら要望、意見などを積極的に取り入れ、安定した接客サービスを提供できていた。また、公園内の動植物に関する質問も多いため、管理者が知識と情報を共有し、利用者に対して即対応できるマニュアルを作成することも必要である。
施設・設備	(満足度)99.2%(※1) ・満足76.8% ・やや満足22.4% ・やや不満0.8% ・不満0%	(満足度)100%(※1)	(満足度)99.6%(※1) ・満足79.6% ・やや満足20.0% ・やや不満0.4% ・不満0%  (改善要望) ・夏場の遊具が熱くなるのでやけどが心配。 ・食べ物の出店があるといいと思います。 ・公園内なのに速度を出す車が多いです。	S  自主事業の施設活性化プログラムの積極的な取り組みにより地域住民や各種団体等の様々な目的や内容の活動が広がり、公園利用の促進や施設のPRに繋がった。また遊具設備に関しても、楽しく利用できる公園遊具を心掛け、安全で安心な公園遊具の提供及び、自主点検による事故の未然防止に努めた。	利用者と交流を図りながら意見や要望を積極的に取り入れ、利便性や利用満足度の向上を図ることができるよう、持続的・効果的な施設運用及び環境維持に努めていた。また、園内が広大なため、通常利用及び緊急時等も考慮し、各ゾーンの細かな区分表記案内板を設置の検討や、公園内安全確保のため車両の速度制限を設けることが課題とされる。
利用条件	(満足度)99.2%(※1) ・満足76.8% ・やや満足22.4% ・やや不満0.8% ・不満0%	(満足度)100%(※1)	(満足度)99.6%(※1) ・満足79.6% ・やや満足20.0% ・やや不満0.4% ・不満0%  (改善要望) ・公園循環パスがあればより利用しやすい。 ・外来種対策をなんとかしてほしい。 ・多目的広場の申し込みはどこですか。	S  県や市との共催イベント(健康づくりウォーキング、観察会等)を取り入れた事により、これまで公園を利用したことのない市民への公園利用促進に大きく繋がり、障がい者就労支援事業所や障がい児童通所支援事業所、デイサービス業者へ場の提供をする事により、通常利用以外の利用方法や改善点などの声を聞くことができた。また夏期の開園時間を早めに設定している事が認知され、早朝ウォーキングや自然観察の利用者が涼しい時間帯に多くみられた。	外部団体や利用者の意見を取り入れ、有料施設には目立つ個所に利用案内を掲示することにより利用しやすい公園を印象付けていた。また自主事業においても、公園施設の利用をアピールすることで公園施設利用促進に繋げる事ができ、多くの利用者へ公園利用条件の周知を図っていた。一方、利用申請が必要とされる場所を知らない新規利用者も多いため、利用申し込み受付案内場所を明示する張り紙等を増やしていく必要がある。
教室・プログラム	(満足度)100%(※1) ・満足100% ・やや満足0% ・やや不満0% ・不満0%	(満足度)100%(※1)	(満足度)100%(※1) ・満足100% ・やや満足0% ・やや不満0% ・不満0%  (改善要望) ・特になし	S  施設活性化プログラムの利用の普及や認知により新規のサークルの利用や以前からのサークル活動も盛んになり、利用内容も充実してきた。また、前回要望のあった利用時間の延長にも対応したことに、更なる活性化に繋がった。	計画的な事業を実施したことにより、利用者ニーズに対応した教室やサークル活動で幅広い年齢層の利用促進に繋がっている。また、自主事業のキッズイベントでは、吹奏楽サークルがオープニングで演奏し、日頃の練習の成果を披露しイベントを盛り上げた。 今後も各種サークルに呼びかけをおこない、自主事業共同開催への誘致等、更なる自主事業の拡大に繋げていく必要がある。
自主事業	(満足度)100%(※1) ・満足75.6% ・やや満足24.4% ・やや不満0% ・不満0%	(満足度)100%(※1)	(満足度)99.6%(※1) ・満足77.8% ・やや満足21.8% ・やや不満0.4% ・不満0%  (改善要望) ・もっとアピールされたら良いと思います。 ・観察会を増やしてほしい。 ・複数回のドックイベント開催を希望します。	S  今年度も利用者のニーズを把握し、多様な目的内容のイベントを計画・実施し、イベント終了後のアンケートの要望等も積極的に取り入れ利用者の更なる満足度向上に繋げることができた。また各団体や機関との共催イベントを開催し多くの利用者が公園へ足を運び自然環境の大切さや素晴らしさを知る機会を設けることができた。また利用者の声として「とても勉強になりました」「いつも楽しいイベント感謝してます」等の高評価が多く、総じて公園自主事業イベントは好感を持たれている。後半、新型コロナウイルスの影響により多数のイベントが中止となってしまった事は残念である。	恒例のイベントは多くの参加者が集まり、広く認知されていると実感している。また前回要望のあった夜間観察会の開催により、普段とは違った自然環境のことや動植物のことを知る機会を設け地域環境保全への関心や意識向上へと繋ると考えている。共同開催する新しい事業はスムーズに開催出来るよう綿密な打ち合わせやリハーサルが必要であり、管理者、外部団体とも連携を密にしながら実施すること。



総合評価 (各評価項目の平均)	〈満足度〉 99.55% (※1)	〈満足度〉 100% (※1)	〈満足度〉99.58%	評価 (②満足度)	公園自主事業イベント等の充実や認知度向上に伴い市民の公園利用も増加傾向にある。また、日常的にウォーキングや自然観察で利用する市民や観光客が増加し、園内の整備・美化活動には細心の注意を図り利用者の安全確保・満足度の向上にも努めることができた。旅行情報誌掲載やHP、インターネット及び、SNS投稿等による情報発信で公園の知名度も上がり邦人・外国人問わず多くの観光客が今まで以上に訪れる様になった。利用者への積極的な声かけや挨拶により地域住民との信頼関係の構築や所管課との連携・協力体制も向上し公園活性化に繋がっている。	公園の自然を生かした自主事業を開催することによって、公園の活性化に繋げるとともに利用者の公園に対する関心や興味を促す事が出来たと考えている。今後も利用者の意見や要望等の情報を収集・分析し公園の維持管理や企画運営に反映させ、親しみやすく、遊びや学びの場が提供できる公園を目指すと同時に日頃の点検や巡回を強化し、計画的に施設・設備の修繕等を行うことで適正な維持管理に努め利用者の安全・安心を第一に管理運営を行う必要がある。公園における知識や解説力の向上を図り、更なる公園の可能性や発展に繋げること。
	S					

【評価基準 (②満足度)】

総合評価においては各評価項目の満足度の平均

各評価項目においてはそれぞれの満足度

S : 90%以上

A : 80%以上、90%未満

B : 70%以上、80%未満

C : 70%未満

II. サービスの質の評価 取組改善案	公園利用者の多種多様な意見やニーズを迅速に対応し、安全かつ安心を第一に考えた維持管理を遂行できていた。また、自然を活かした施設の特徴も十分に発揮させ、更なる公園の活性化と魅力を発信することにより利用満足度の向上に繋げることができていた。今後においても、利用者の声に迅速に対応し、外部機関・団体とも更なる交流を図りながら、意見交換や要望等の情報を収集・分析し、公園の維持管理や企画運営・自主事業イベントに反映した取り組みを行い、より一層の公園の発展・活性化・魅力発信を行っていく必要がある。
------------------------	--

## Ⅲ. サービスの安定性評価(財務状況)

## 1. 事業収支

## (1) 収入

収入項目		平成30年実績	事業計画	令和元年実績	前年比 (%)	計画比 (%)	特記事項
利用料金収入	施設利用料収入	315,490	250,000	334,710	106%	134%	多目的お祭り広場
	行為の制限に係る利用料収入	49,560	50,000	70,260	142%	141%	
	計	365,050	300,000	404,970	111%	135%	
指定管理料		44,500,000	44,500,000	44,912,037	101%	101%	
自動販売機収入		2,353,325	2,400,000	2,506,541	107%	104%	使用料含む
不可抗力増加費用		835,650	0	0	0%	—	
その他収入	受取利息・雑収入	56	0	49	88%	—	
自主事業収入	自主事業収入	2,237,684	1,810,450	2,145,832	96%	119%	公益事業・利用プログラム ・モククエイ昆虫館
	計	2,237,684	1,810,450	2,145,832	96%	119%	合計額に自主事業収入は 含まれておりません。
合計(A)		48,054,081	47,200,000	47,823,597	100%	101%	
〈現状分析・課題〉							
現状分析:多目的お祭り広場の良好なグランド状態の維持を保つことによって利用者が増え、収入の増加に繋がった。 課題:利用料金収入や自主事業収入を増収を図るための更なる工夫や発信が必要である。							

## (2) 支出

支出項目	平成30年実績	事業計画	令和元年実績	前年比 (%)	対計画比 (%)	特記事項	
人件費(給与、法定福利費等)	24,675,147	25,148,550	24,255,012	98%	96%		
旅費	251,250	500,000	174,216	69%	35%		
食料費(会議費)	17,989	35,000	6,147	34%	18%		
消耗品費	782,937	780,000	726,816	93%	93%		
燃料費	1,163,336	1,100,000	1,246,126	107%	113%		
印刷製本費	70,069	75,000	107,641	154%	144%		
光熱水費	5,747,878	5,410,000	5,661,475	98%	105%		
通信運搬費	292,263	270,000	267,554	92%	99%		
広告料	10,776	15,000	0	0%	0%		
手数料	14,742	20,000	15,264	104%	76%		
施設賠償責任保険料等	395,200	400,000	395,200	100%	99%		
自動車損害保険料	71,290	70,000	63,710	89%	91%		
委託料	7,008,640	6,955,640	7,105,840	101%	102%		
使用料及び賃借料	1,454,520	1,399,000	1,510,075	104%	108%		
備品購入費	185,060	250,000	234,444	127%	94%		
負担金	14,400	21,000	13,200	92%	63%		
公租公課	2,055,885	2,100,000	2,341,366	114%	111%		
施設修繕費	2,034,246	2,000,000	2,012,329	99%	101%		
不可抗力・大規模修繕等	835,650	0	0	0%	—		
その他	100,709	600,000	208,412	207%	35%	外注費、原材料費	
合計(B)	47,181,987	47,149,190	46,344,827	98%	98%		
〈現状分析・課題〉							
現状分析:積極的な節電、節水への取り組みで光熱費の削減に繋がった。 課題:今後も作業の効率化や省エネ意識を持ち、燃料費等の経費を削減すること。							

## 2. 経営分析指標

評価指標	平成30年実績	事業計画	令和元年実績	前年比 (%)	計画比 (%)	特記事項
事業収支(C) (収入(A)-支出(B))	872,094	1,861,260	1,478,770	170%	79%	
収益率 (事業収支(C)/収入合計(A))	1.81%	3.94%	3.09%	170%	78%	
利用料金比率 (利用料金収入/収入(A))	0.76%	0.64%	0.85%	111%	133%	
人件費比率 (人件費/支出(B))	52.30%	53.34%	52.34%	100%	98%	
外部委託費比率 (外部委託費合計/支出(B))	14.85%	14.75%	15.33%	103%	104%	
利用者あたり管理コスト (支出(B)/利用者数)	81.62	81.57	79.40	97%	97%	
利用者あたり自治体負担コスト (指定管理料/利用者数)	76.98	76.99	76.95	100%	100%	
〈現状分析・課題〉 現状分析: 前年と比較して、積極的な節電、節水への取り組みを行い光熱費の削減ができたことで事業収支のプラス分が大幅に増えている。 課題: 計画比においては事業収支は割っているため、無駄な使用を控えるなどして、今後も経費の削減に努める必要がある。						

評価(③財務状況)

A

【評価基準(③財務状況)】  
 収益率(事業収支/収入合計)  
 A: 0%以上  
 B: -5%以上、0%未満  
 C: -5%未満

Ⅲ. サービスの安定性評価 (財務状況) 取組改善案	今後も作業の効率化、省力化を図り支出減に尽力すること。また収益を上げるために安定した自主事業の運営と有料施設の利用促進に繋がる宣伝、施設維持管理に努めること。
----------------------------------	---

## 【経営分析指標の評価の考え方】

評価指標	計算方法	評価の考え方
事業収支	収入-支出	事業収支がマイナスの場合、継続性の面で課題となるため、県、指定管理者で協力して黒字化のための方策を協議する必要がある。 ※計画や過年度実績に対し変動がある場合には、その要因を整理すること。
収益率	事業収支/収入	計画、過年度実績、類似施設と比較して、安定したものとなっているか、適切な範囲内となっているか確認する。 ※計画や過年度実績に対し変動がある場合には、その要因を整理すること。 ※計画等に対し上昇している場合、必要な変動費が十分に充てられているか確認すること。また、計画等に対し減少している場合、当初の収支見込が適切であったか精査すること。
利用料金比率	利用料金収入/収入	指定管理者の主な収入源がどこにあり、それが安定したものであるかを確認する。 ※過年度実績に対し増減がある場合には、利用料金そのものの増減によるものか、自主事業等その他収入の増減によるものかなど、その要因を整理すること。
人件費比率	人件費/支出	過年度実績や類似施設と比較して、適切な範囲内となっているか確認する。 ※変動がある場合には、人件費そのものの増減によるものか、その他支出項目の増減によるものか、その要因を整理すること。 ※人件費の減少がある場合には、それにより効率が低下していないかを確認する。また、人件費の増加がある場合には、求められる管理水準に対し必要な措置か確認すること。
外部委託費比率	外部委託費合計/支出	過年度実績や類似施設と比較して、適切な範囲内となっているか確認する。 ※増減がある場合には、外部委託の範囲が仕様書等に定める適切な範囲内となっているか、外部委託の活用が業務の効率化に繋がっているか確認する。
利用者あたり管理コスト	支出/利用者数	利用者1人に対する管理コストについて、過年度実績や類似施設と比較することにより、当該施設の効率性を確認する。(コストが抑えられていても利用者が減少していないか、あるいは利用者は増加しているがコストがかかり過ぎていないかなど) ※変動がある場合には、その要因を整理すること。 ※過年度に対し上昇している場合、現状の利用者数に対して支出が過大になっていないか確認する。また、過年度に対し減少している場合、現状の利用者数に対し、必要な変動費が十分に充てられているか確認する。
利用者あたり自治体負担コスト	指定管理料/利用者数	利用者1人に対する県の財政負担を確認する。 過年度実績や類似施設との比較により、当該施設の効率性を確認する。

## IV. 総合評価

## 1. 目標

評価項目	評価指標	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	備考	
成果指標	①利用状況	利用者数	579,000人	350,000人	585,000人	585,000人	
	②満足度	満足度	100%	100%	100%	100%	
財務指標	③財務状況	収益率	0%以上	0%以上	0%以上	0%以上	

## 2. 評価結果

評価項目	評価指標	平成30年実績	事業計画 (目標値)	令和元年実績		現状分析・課題	評価	取組改善案	令和2年 目標値		
				令和元年実績	前年比					計画比	
成果指標	①利用状況	利用者数	578,096人	579,000人	583,681人	101%	101%	大都市からの直行便の増便、大型クルーズ船の入港回数の増加、また多方面からの修学旅行の誘致により観光客(外国人・邦人)が増加している。また、改修工事によりセイシカの橋や東口ボードウォーク等が修繕されたためウォーキング・散策する利用者も増加した。各種団体との新規の共催イベントや通年イベントの拡充を図り更なる公園活性化に繋げる必要	A	新型コロナウイルスの影響で、今後の利用者数の予測ができない。今後も引き続き利用者の意見やニーズに耳を傾けより身近で魅力的な公園となるよう計画的かつ合理的な管理運営に努め、観光客だけでなく地元住民の公園利用を促進すること。	350,000人
	②満足度	満足度	99.55%	100%	99.58%	100%	100%	公園利用者の意見や要望等の情報を収集・分析し公園の維持管理や企画運営に反映させることにより、親しみやすい温かみのある公園を目指すと同時に、日頃の点検や巡回を強化し、計画的に施設・設備の修繕等を行うことで適正な維持管理に努めていた。今後においても、利用者の安全・安心を第一に考えと共に、自然を活かした施設の特徴も十分に発揮させ、より魅力的な公園を提供していく必要がある。	S	引き続き、公園利用者や外部団体との交流を図りながら、意見交換や要望等の情報を収集・分析し公園の維持管理や企画運営に反映させ、更なる公園の活性化に繋げる取り組みを行うこと。また、多種多様な公園利用に求められる意見やニーズには迅速に対応し、更なる公園の活性化と利用満足度の向上にも努めること。	100%
財務指標	③財務状況	収益率	1.81%	0%以上	3.09%	170%	—	今後も、経費内容等の再確認を行い支出減に努め、作業の省力化、効率化を図りつつ継続自主事業の拡充を図り、収入に繋がるような計画を実行する必要がある。	A	公園の自主事業やイベント情報の発信を充実させると共に、利用者ニーズを把握し、リピーター、新規の公園利用者増へ努めること。また、施設利用者層の幅を広げるため、広場利用の促進・PR活動なども積極的にを行い施設利用料及び自主事業での増収を図ること。	0%以上

活動指標	④重点取組事項	アンケート回収数の増加	231	250	233	101%	93%	自主事業・イベントにおけるアンケート実施の他、A管理棟(管理事務所)、C管理棟(昆虫館)にアンケートスペースを設置した。また、管理者が園内を巡回する際は、アンケート用紙を所持し、様々な場所にて公園利用者へ直接アンケートの記入を依頼している。しかし、年度末に発生した新型コロナウイルスの影響によりアンケートの回収が前年度より下った。このような場合における利用者の意見や要望を反映させるため、SNS等の利用によりオンライン上でアンケートが取れるシステムを構築する必要がある。	B	年度末の新型コロナウイルス感染症の影響により、自主事業イベントの中止から極端に利用者が減少してしまいアンケート回収率が下回る結果となった。前回課題とされた要望欄への記入は直接依頼することにより前年度よりも多くの意見を集めることができていたが、今後も利用者への積極的な声掛けを行い、直接の意見や要望を収集し、更なる公園の活性化に努めること。	175
------	---------	-------------	-----	-----	-----	------	-----	---	---	---	-----

総合評価

A

## 【評価基準】

## ①利用状況

目標値に対する達成率

S：110%以上

A：100%以上、110%未満

B：80%以上、100%未満

C：80%未満

## ②満足度

総合評価における満足度（各評価項目の平均値）

S：90%以上

A：80%以上、90%未満

B：70%以上、80%未満

C：70%未満

## ③財務状況

収益率（事業収支／収入合計）

A：0%以上

B：-5%以上、0%未満

C：-5%未満

## ④重点取組事項

目標に対する評価

S：目標を大きく上回る

A：目標を概ね達成

B：目標を下回る

C：目標を大きく下回る

## 【総合評価基準】

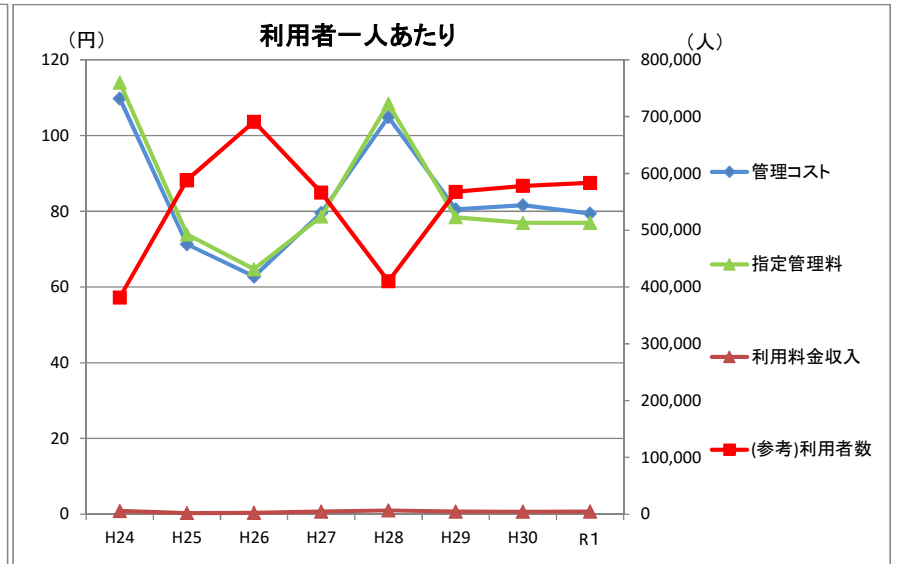
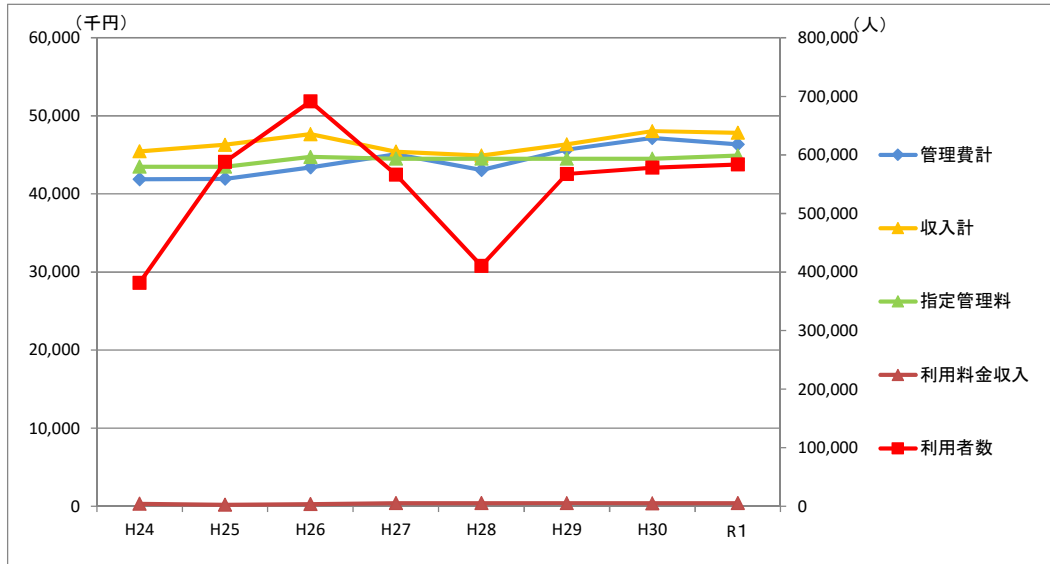
	総合評価基準
S	40点以上 <small>かつ各評価項目において C評価がないこと</small>
A	25点以上
B	10点以上
C	5点以下

## 【各評価項目点数】

	① 利用状況	② 満足度	③ 財務状況	④ 重点 取組事項
S	20	20	-	10
A	10	10	5	5
B	0	0	0	0
C	-10	-10	-5	-5

経営状況分析シート【施設名称:バナナ公園】

指標			直営		指定管理																	
			単位	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
成果指標	利用者数	目標	人															579,000	350,000	585,000	585,000	
		実績	人									381,487	588,285	691,147	566,220	410,434	567,371	578,096	583,681			
		目標比																	1	0	0	0
財務指標	指定管理料		千円								43500	43500	44743	44500	44500	44500	44500	44,912	45,212			
	県負担割合(指定管理料/管理費計)		%								103.8%	103.7%	103.1%	98.7%	103.4%	97.4%	94.3%	96.9%				
	利用料金収入		千円								312	184	253	406	407	410	365	405				
	利用率比率(利用料金/収入計)		%								0.69%	0.40%	0.53%	0.89%	0.91%	0.88%	0.76%	0.85%	0.00%			
	その他の収入(自販機・自主事業)										1,634	2,618	2,656	501	0	1,450	3,189	2,507				
	収入計		千円								45,446	46,302	47,652	45,407	44,907	46,360	48,054	47,824	45,212			
	管理費計		千円								41,894	41,940	43,411	45,080	43,056	45,673	47,181	46,344				
	収支		千円								3,552	4,362	4,241	327	1,851	687	873	1,480	45,212	0	0	
	収益率(収支/収入計)		%								7.8%	9.4%	8.9%	0.7%	4.1%	1.5%	1.8%	3.1%	100.0%			
	/単位	一人あたり管理コスト		円							110	71	63	80	105	80	82	79				
	一人あたり指定管理料		円							114	74	65	79	108	78	77	77					
	一人あたり利用料金収入		円							1	0	0	1	1	1	1	1					



特記事項

令和元年度	コロナウイルス感染症の影響により、年度末の自主事業は中止。
平成30年度	大型クルーズ船の入港、LCCの就航等で観光客(外国人・邦人)が増。
平成29年度	SNSや旅行情報誌、クルーズ船等で観光客(外国人・邦人)が増。
平成28年度	ふれあい橋、展望広場、東屋等の整備工事でCゾーン一帯の利用制限があったため利用者数が減少した

目標設定の考え方

令和元年度	前年度実績の約5%増。
令和2年度	新型コロナウイルス感染症の影響を鑑み、前年度実績の約5割に目標を設定。
令和3年度	新型コロナウイルス感染症の影響を鑑み、1年間かけて利用者数が戻ると仮定し、H31年度の実績を目標に設定。
令和4年度	前年度実績の約5%増。